

# ハートフル 自閉式折戸ドア ＜扉施工用＞

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

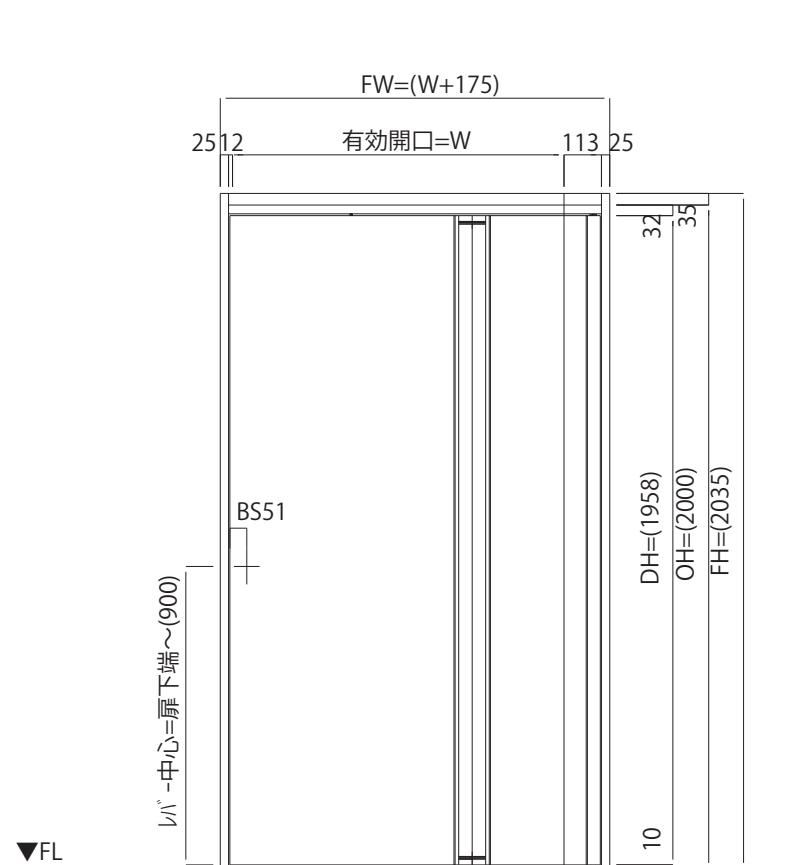
## ⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

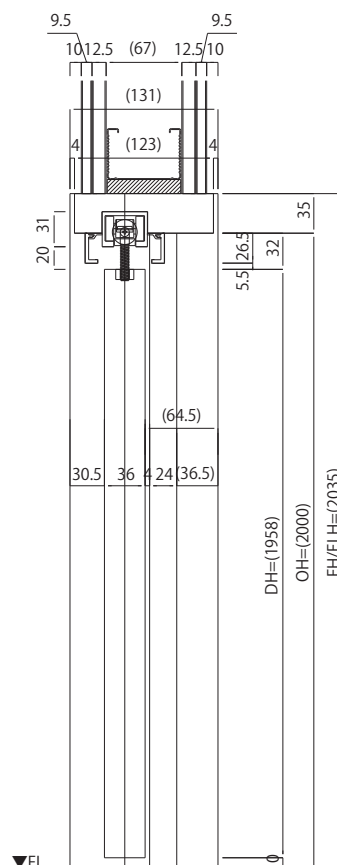
扉 梱 包			
折戸 (1)		バーハンドル (1)	
		ワンストップヒンジ (1)	
		エアダンパー (1)	

## 納まり図

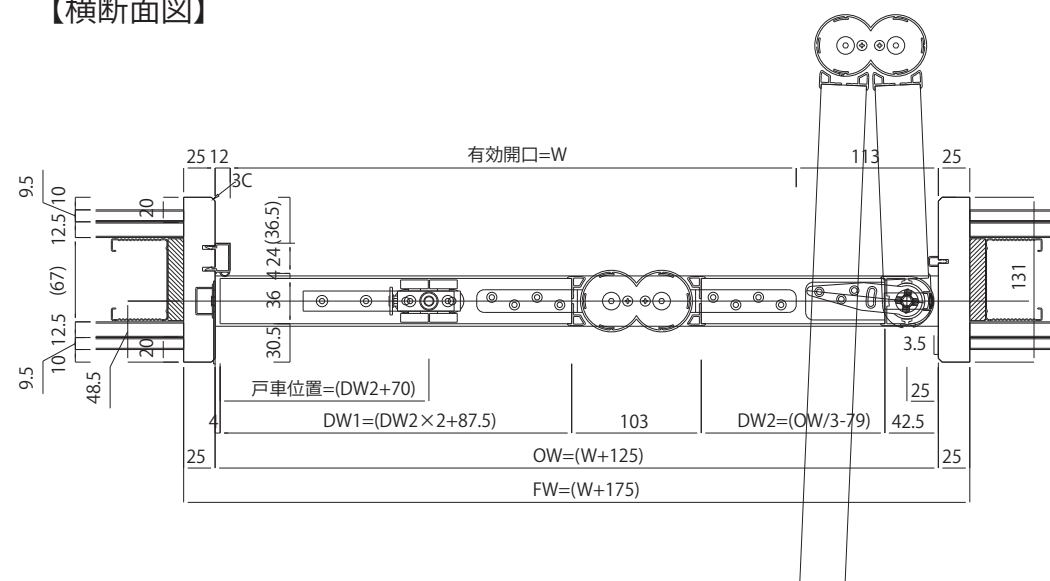
【姿図】



【縦断面図】



【横断面図】



## 1. 扉の吊込み

### 《吊込み》

- ①ワンストップヒンジをドア(小)上部に差し込み、ビスで固定してください。

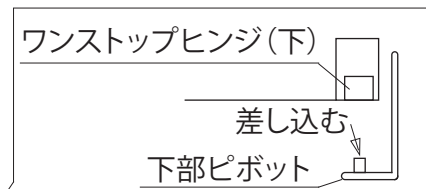
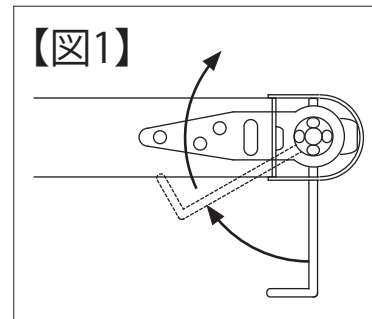
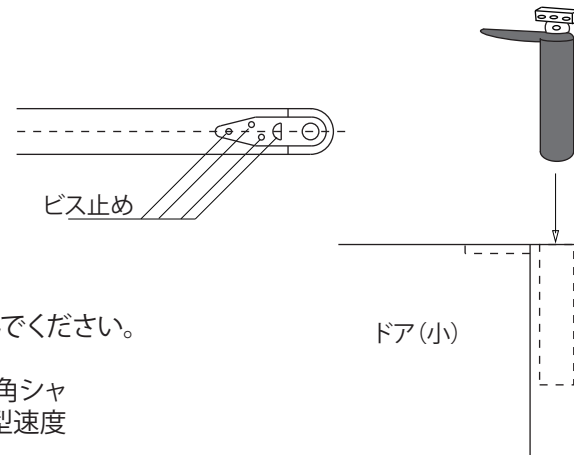
※位置調整をする場合は先に長穴1箇所のみビス固定します。

- ②扉を広げた状態にします。

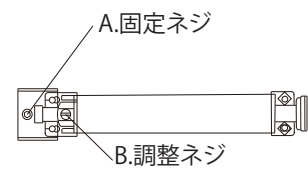
- ③下部ピボットへ扉吊元側下のワンストップヒンジを差し込んでください。

- ④吊元側扉とレールを平行にし、ワンストップヒンジ本体の六角シャフトピンを吊元側上部固定金具の穴に位置を合わせ、円盤型速度調整金具を図1の方向に回しながら差し込んでください。

- ⑤扉を完全に閉まった状態にし、吊車のボルトを扉上部のランナーアームに締め付けてください。

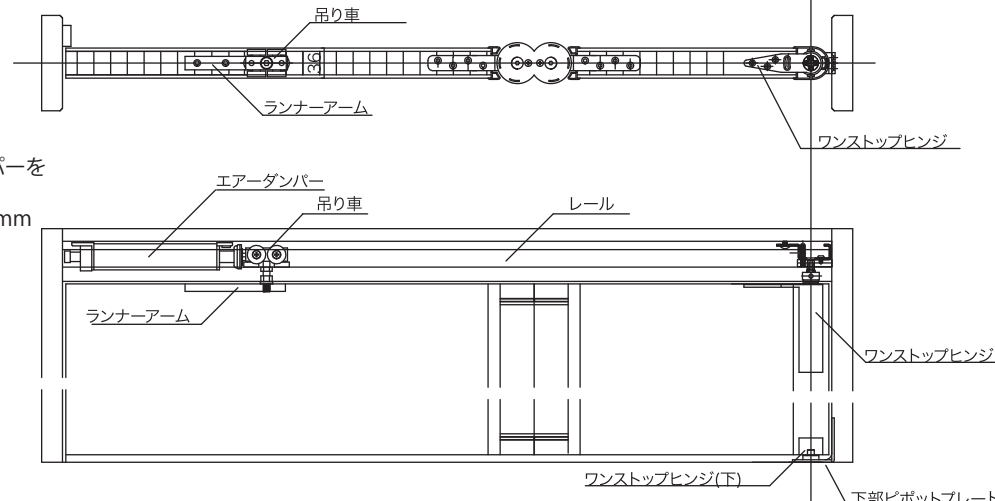


- ⑥上レールの中にエアードンパーを差し込み、足しレールをビス止めしてください。



a. ドアを完全に閉めた状態で、エアードンパーを手で押さえドアを開けてください。そこからエアードンパーを戸先側に3~4mmずらしAを締め付け固定します。

b. 最後にドアの開け閉めを数回繰り返し、ドアの閉まりを確認した上でBで強さを調整します。



## 2. 建付け調整

### 《扉の高さ調整と動きの確認》

- ①上レール下部と扉上端部の隙間を20mmにしてください。

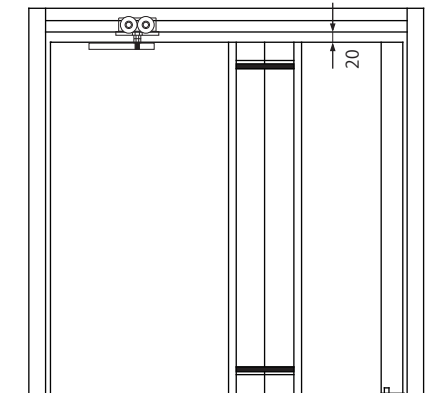
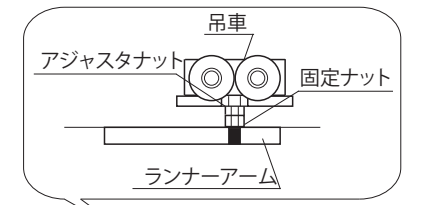
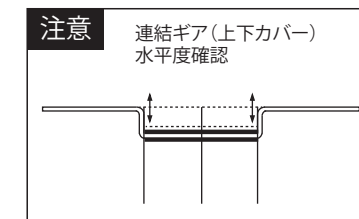
- ②吊車の高さの調整はアジャスタナットを回して行います。アジャスタナットが回しにくい時は付属のレンチでボルトを回します。

- ③扉の動きを確認しながら扉との隙間を調整してください。

- ④吊車でドア(大)の荷重を受けているか、浮きがないかを確認してください。

※調整後、固定ナットを緩まないようによく締めてください。

- ⑥開閉動作の確認をしてください。  
(閉速度はワンストップヒンジで調整)  
(ブレーキ調整はエアードンパー)



## 3. 部品の取付け

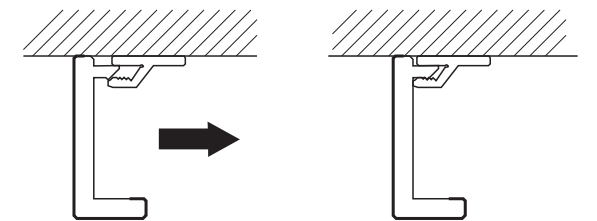
### 《レバーハンドル取付け》

- ①レバーハンドルの取付けは、レバーハンドルに付属の説明書をご覧ください。

### 《ハンガーカバーの取付け》

- ①ハンガーカバーを上枠の受け材にはめ込んでください。

◆ハンガーカバー



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

### ＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

### ＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。